

JVC

LYT2272-001A-M

JP

準備する

撮影する

再生する

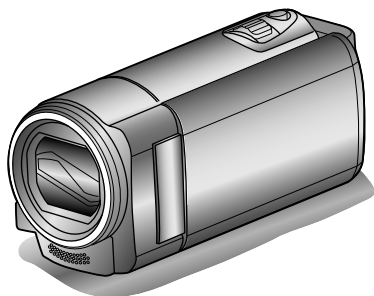
保存する

その他

ビデオカメラ

型名 **GZ-HM50**

基本取扱説明書



Everio

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、「安全上のご注意」(p. 2) および「使用上のご注意」(p. 28) を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



Web ユーザーガイド

本製品には「基本取扱説明書」(本書)と「Web ユーザーガイド」があります。詳しい取り扱い方法は下記アドレスの「Web ユーザーガイド」をご覧ください。

■ <http://manual.jvc.co.jp/c1a/lyt2269-001jp>

■ 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。



安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。
絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
 感電注意	 分解禁止	
	 ぬれ手禁止	
	 水場での使用禁止	

万一異常が発生したときは


- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などがいった
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

➔

**バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く**
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。


危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」 内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはいししない

 **禁止**

- プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
- 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温 (60°C以上) になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・ バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
・ 幼児の手の届くところには置かないでください。


 **禁止** **変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する**

- ・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」をご覧ください。)
- ・ ご購入時は充電されていません。充電しておいでください。
・ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。


● **長期間使わないときは…**

- ①劣化を防ぐため、使い切ってから取り外します。(撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
- ②半年に一回程度は充電し、使い切って保管します。


警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

 **禁止** **内部に物を入れない**


- ・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

 **禁止** **レンズを直射日光などに向けない**

- ・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

 **禁止** **乗り物を運転中に使用しない**

- ・ 交通事故の原因になります。

 **禁止** **雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない**

- ・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
- ・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

水場での使用禁止



警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。



付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)に、ほりやりや金属を付着させない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。



雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。



ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。



注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



5年に1度は内部の点検を販売店に相談する
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。



病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



グリップベルトをゆるんだまま使用しない
・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。



三脚を確実に取り付ける
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください、しっかりと取り付けてください。



移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。



湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。



熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

もくじ

安全上のご注意	2	テレビで映像を見る	14
付属品を確かめる	4	▶ 保存する	16
各部のなまえとはたらき	5	いろいろな保存のしかた	16
▶ 準備する	6	DVD レコーダーやビデオデッキにつないでダビングする	17
バッテリーを充電する	6	パソコンに保存する	18
グリップベルトを調節する	7	▶ その他	21
ハンドストラップとして使う	7	メニュー操作のしかた	21
画質について	7	撮影時間	25
SD カードを入れる	8	困ったときは	26
時計を合わせる	10	使用上のご注意	28
▶ 撮影する	12	仕様	30
動画撮影	12	保証とアフターサービス	31
▶ 再生する	13		
本機で映像を見る/削除する	13		



Web ユーザーガイド

本製品には "基本取扱説明書"(本書)と "Web ユーザーガイド"があります。詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド"をご覧ください。

■ <http://manual.jvc.co.jp/c1a/lyt2269-001jp>

■ 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)

付属品を確かめる

AC アダプター
AC-V11※



バッテリー
BN-VG107



USB ケーブル
(A タイプ-ミニ B タイプ)



AV コード



CD-ROM



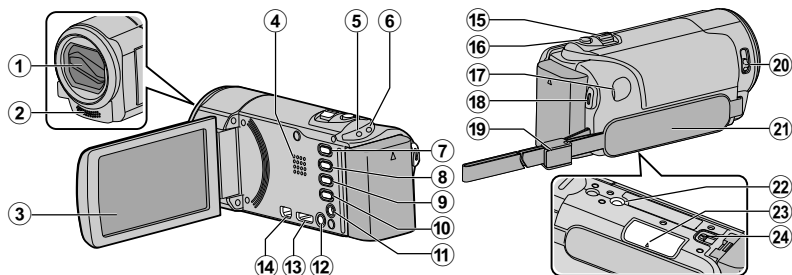
基本取扱説明書
(本書)



- SD カードは別売です。本機で使えるカードの種類については、p. 8 をご覧ください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

各部のなまえとはたらき

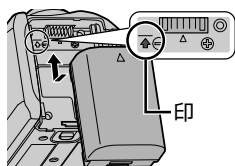


- ① レンズカバー
- ② モノラルマイク
- ③ 液晶モニター
開閉すると、電源を入切できます。
- ④ スピーカー
- ⑤ ACCESS(アクセス)ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。
- ⑥ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ
(p. 6)
- ⑦ **▶/■**(再生/録画)ボタン
撮影と再生を切り換えます。
- ⑧ UP/<ボタン
UP : スクロール/カーソルを上へ移動します。
< : 早戻し
- ⑨ DOWN/>ボタン
DOWN : スクロール/カーソルを下へ移動します。
> : 早送り
- ⑩ OK/INFO ボタン
選択を決定します /ファイル情報を表示します。
撮影 : 撮影残量時間とバッテリー残量を表示します。
再生 : 撮影日などのファイル情報を表示します。
- ⑪ AV 端子(p. 15、17)
- ⑫ MENU ボタン(p. 21)
- ⑬ HDMI(Mini)端子(p. 14)
- ⑭ USB 端子(p. 20)
- ⑮ ズームレバー/音量調整/インデックス表示
(p. 12、13)
- ⑯ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン
(p. 12)
- ⑰ DC 端子(p. 6)
- ⑱ START/STOP(録画/停止)ボタン
(p. 12)/
▶/■(再生/一時停止)ボタン(p. 13)
- ⑲ ストラップロック(p. 7)
- ⑳ レンズカバースイッチ(p. 12)
- ㉑ グリップベルト(p. 7)
- ㉒ 三脚取り付け穴
- ㉓ SD カードスロット(p. 8)
- ㉔ バッテリー取りはずしレバー(p. 6)

バッテリーを充電する

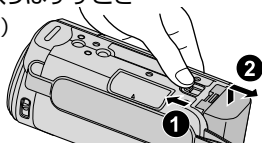
1 バッテリーを取り付ける

*ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

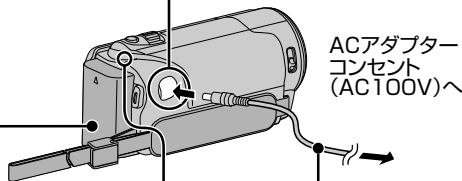
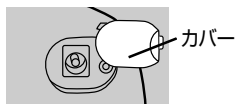


- 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

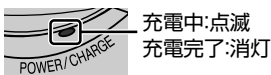
■ 取りはずすとき
(底面)



2 DC端子につなぐ



3 コンセントにつなぐ 充電ランプ

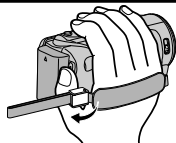
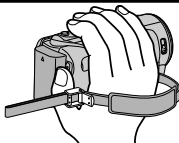
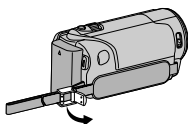


ご注意

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間: 約 1 時間 50 分 (付属バッテリーの場合)
- ※ 25℃ で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃ の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。
- USB ケーブルを使っても充電できます。(詳しくは Web ユーザーガイドへ)

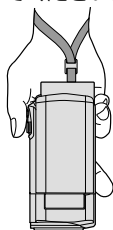
グリップベルトを調節する



- ① 止め具のロックレバーを開く ② ベルトの長さを調節する ③ ロックレバーを閉じる

ハンドストラップとして使う

ベルトの長さを調整して、手首を通してください。



画質について

本機はハイビジョン画質および標準画質で撮影することができます。
お買い上げ時はハイビジョン画質(LS)に設定されています。

■ 設定を切り換えたいときは

- ① MENU ボタンを押す
- ② UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを押して“動画画質”を選んで、OK/INFO ボタンを押す
- ③ UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを押して画質を選ぶ
- ④ OK/INFO ボタンを押す (設定完了)

ハイビジョン画質	LS (16:9)		画質優先 ↑↓ 撮影時間優先
	LE (16:9)		
標準画質	SSW (16:9)	SS (4:3)	
	SEW (16:9)	SE (4:3)	

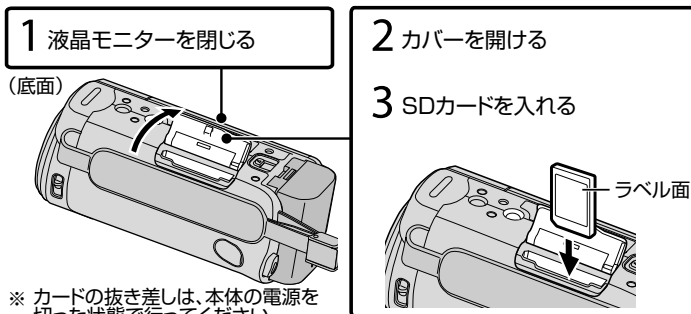
※ 撮影可能時間の目安については、p. 25 をご覧ください。

SDカードを入れる

市販のSDカードを入れておくと、内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずにカードに記録できます。

※ カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(p.9)

カードがない場合は、「記録メディア設定」を「内蔵メモリー」にして撮影してください。



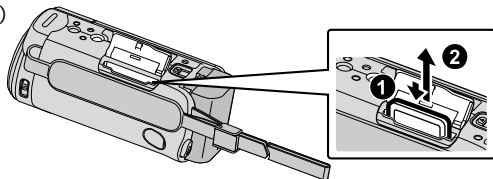
※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

※ 液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

(底面)



お知らせ

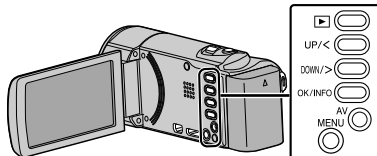
次のSDカードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック (Panasonic)、東芝 (TOSHIBA)、サンディスク (SanDisk)、ATP、Eye-Fi*
動画	Class 4 以上対応のSDHCカード(4 GB~32 GB)、またはClass 4 以上対応のSDXCカード(64 GB まで)
Eye-Fi	Eye-Fi Connect X2 / Eye-Fi Explore X2 / Eye-Fi Pro X2

*指定モデルのみ、お使いください。詳しくはWebユーザーガイドをご覧ください。

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- SDカードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- Eye-FiはSDカードに無線LAN機能を内蔵しています。

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



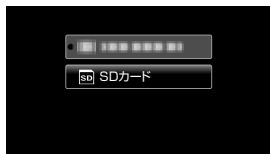
■ SDカードを使うときは

"記録メディア設定"を"SDカード"に変更すると、カードを使って記録や再生ができます。

- ① MENU を押す
- ② "記録メディア設定"を選んで、OK を押す



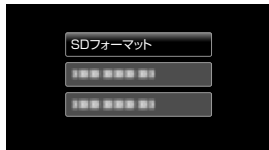
- ③ "SDカード"を選んで、OK を押す



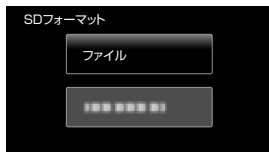
■ ほかの機器で使っていたSDカードをはじめて使うときは

メディア設定の"SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

- ① MENU を押す
- ② "メディア設定"を選んで、OK を押す
- ③ "SDフォーマット"を選んで、OK を押す



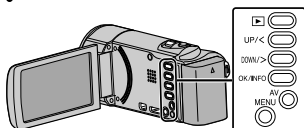
- ④ "ファイル"を選んで、OK を押す



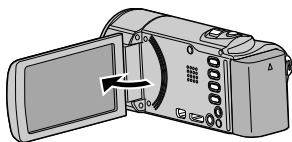
- ⑤ "はい"を選んで、OK を押す
- ⑥ フォーマットが終わったら、OK を押す

時計を合わせる

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。

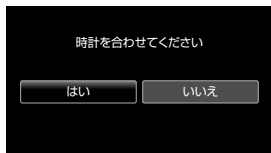


1 液晶モニターを開く



- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"を選んで、OK を押す



3 日時を設定する



- UP/<または DOWN/>で設定値を調整して、OK を押すと確定します。次の項目にカーソルが移動します。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

4 UP/<または DOWN/>を押して、お住まいの地域を選んで、OK を押す

- 都市名と時差が表示されます。



- 一つ前の画面に戻るとき MENU を押します。

時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ" から時計を合わせてください。

- ① MENU を押す
- ② "時計合わせ" を選んで、OK を押す



- ③ "日時設定" を選んで、OK を押す



- 以降の設定のしかたは、前ページの手順 3 ~ 4 と同じです。

お知らせ

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください" が表示されます。24 時間以上充電してから、時計を設定してください。

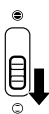
動画撮影

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスを自動的に調整します。

※ 逆光 (A)、夜景 (M)、人物 (P) の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

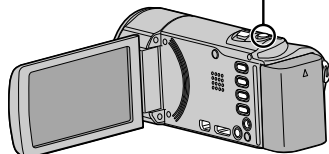
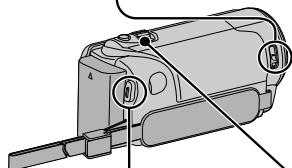
大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

1 レンズカバーを開ける



2 撮影モードが i.A. インテリジェントオートか確認する

- M マニュアルになっているときは、**AV** を押して切り替えます。
- 押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルが切り替わります。



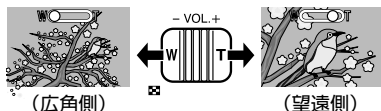
ズームを使う

3 撮影を開始する

- もう一度押すと、停止します。



START/STOP



(広角側)

(望遠側)

※ "動画画質" の設定によって、ズーム倍率が異なります。(P.30)

■ 動画撮影中の表示

手ぶれ補正 (P.22)

記録メディア

動画画質

バッテリー残量

● REC

● || : 停止中

● REC : 録画中

シーンカウンター

0:00:00 [000:22]

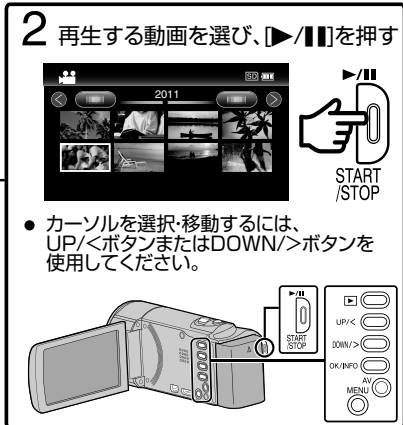
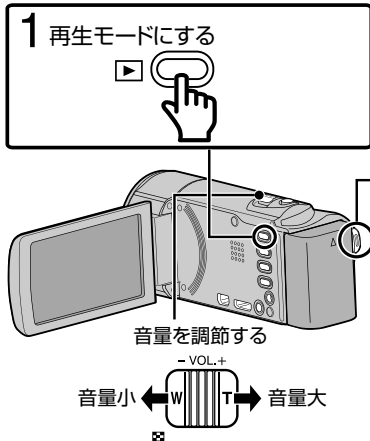
撮影可能時間

お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 40 分です。(p. 25)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ACアダプター、SD カードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。"記録メディア設定"(p. 9)で設定しているメディアの内容が一覧表示されます。



- もう一度▶を押すと撮影モードに戻ります。
- ハイビジョン画質と標準画質で記録した映像は、別々に一覧表示されます。ハイビジョン画質で撮影した映像を見るときは、一度撮影モードにしてメニューの"動画画質"を"L S"または"L E"、標準画質で撮影した映像を見るときは"S SW"、"S S"、"S E W"または"S E"に設定してから、再生モードにして下さい。(p. 7)

■ インデックス画面から選択したファイルを削除するには

- MENU を押して "削除" を選んで、OK を押す
- "選択して削除" を選んで、OK を押す

- UP/<または DOWN/>を押してファイルを選択して、OK を押す
- MENU を押して "実行する" を選んで、OK を押す
- 削除が終わったら、OK を押す

■ 再生中に使える操作ボタン/レバー

	動画再生中	動画一時停止中
▶/	一時停止	再生
ズーム	-	停止(サムネイルに戻る)
ズーム(T) / Vol.+	音量増加	-
ズーム(W) / Vol.-	音量減少	-
UP/<	早戻し	コマ戻し
DOWN/>	早送り	コマ送り

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

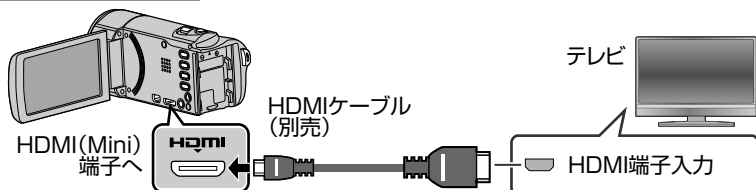
※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源を切る。

■ ハイビジョン画質で再生するとき

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI 端子でつなぐ

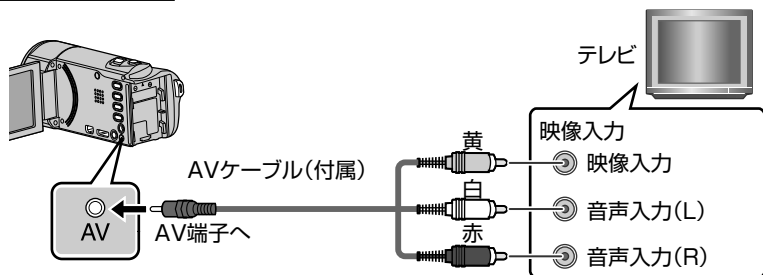


お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます
AV 端子でつなぐ



2 AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する (p. 13)

■ 日時などを表示して再生したいときは

"接続設定"メニューの"テレビ表示"を"入"にしてください。(p. 24)

また、再生メニューの"画面表示"を"入"にしてください。(p. 23)








■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	<ul style="list-style-type: none"> ● "接続設定"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。(p. 24)
テレビに横長に映る	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	<ul style="list-style-type: none"> ● "x.v.Color"が"入"の状態撮影した映像を再生するとき、必要に応じてテレビを設定してください。 ● テレビ側で画面を調整してください。

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

- : 記録/再生できる
- △ : 再生のみできる
- : 記録/再生できない

メディアの選択	標準画質		ハイビジョン画質			参照ページ
	 VHS (VHS テープ)	 DVD (DVD ディスク)	 AVCHD DVD (DVD ディスク)	 Blu-ray Disc (ブルーレイ ディスク)	 HDD (機器内蔵 の HDD)	
使用する機器	ブルーレイレコーダー 	—	○	△ ※1	○	レコーダーの取扱説明書をご覧ください
	DVDレコーダー 	—	○	△ ※1	—	p. 17
	ビデオデッキ 	○	—	—	—	p. 17
	パソコン 	—	※2	※2	※2	○

※1 AVCHD Lite 対応機器のみ

※2 パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

お知らせ

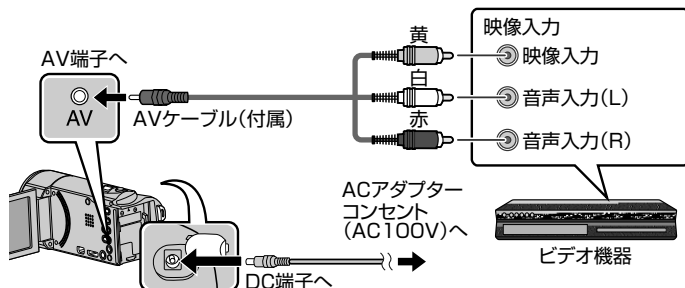
- DVDライター、外付型ブルーレイドライブ、または外付型ハードディスクと接続して保存することはできません。

DVDレコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVDレコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。テレビやDVDレコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

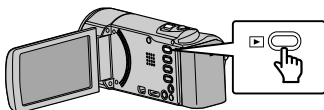
1 ビデオ機器に接続する

- 電源を切る。



- ACアダプターを接続すると自動で電源が入ります。

2 再生/録画を押して、再生モードにする



3 録画の準備をする

テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-Rやビデオテープを入れます。

本機の準備

- "接続設定"メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("4:3"または"16:9")に合わせます。(p. 24)
- 日付も一緒にダビングしたいときは、"接続設定"メニューの"テレビ表示"を"入"にします。(p. 24) また、再生メニューの"画面表示"を"入"にしてください。(p. 23)



4 録画を開始する

- 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

パソコンに保存する

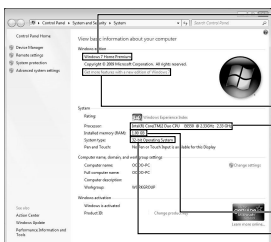
パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。

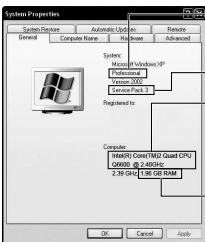
スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合



- **Windows 7**
Home Premium(プリインストール版のみ)
- **Windows Vista**
Home BasicまたはHome Premium
(共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 2(Windows Vistaのみ)
- **プロセッサ**
ハイビジョン画質: Intel Core Duo, CPU 1.66 GHz 以上
(Intel Core 2 Duo, CPU 2.13 GHz 以上推奨)
標準画質: Intel Pentium 4, CPU 3.0 GHz 以上
(Intel Pentium D, CPU 3.0 GHz 以上推奨)
- **メモリー**: 2 GB以上
- **システムの種類**: 32ビット/64ビット

■ Windows XP の場合



- **Windows XP**
Home EditionまたはProfessional(共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 3
- **プロセッサ**
ハイビジョン画質: Intel Core Duo, CPU 1.66 GHz 以上
(Intel Core 2 Duo, CPU 2.13 GHz 以上推奨)
標準画質: Intel Pentium 4, CPU 3.0 GHz 以上
(Intel Pentium D, CPU 3.0 GHz 以上推奨)
- **メモリー**: 1 GB以上

■ そのほかの条件

ディスプレイ: 1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)

グラフィック: Intel G965 以上を推奨

■ 動画編集

ハイビジョン画質: Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

標準画質: Intel Core 2 Quad, CPU 2.4 GHz 以上推奨

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie'08、'09、'11 (動画) を使っても、コンピューターにファイルを取り込めます。

コンピューターの性能を確認するには、アップルメニューから「この Mac について」を選んでください。OS のバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

- iMovie の最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovie の操作については、ソフトのヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

付属ソフトをインストールする

付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

Windows Vista / Windows 7 の場合

- ① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行" をクリックする。
 - ② ユーザーアカウント制御画面で "続行" をクリックする。
- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ" が表示されます。
 - 表示されないときは、"マイコンピュータ" のなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP の場合

- 手順 2 へ進みます。

2 "Everio MediaBrowser 3" をクリックする



- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 "完了" をクリックする

4 "終了" をクリックする



Everio

MediaBro...



Everio

MediaBro...

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

お知らせ

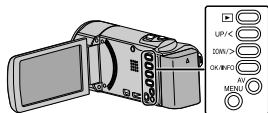
Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 2 で "Web ユーザーガイド" をクリックしてください。

すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。

- 本機の LCD モニターを閉じて、電源を切ってください。電源プラグをはずしてください。

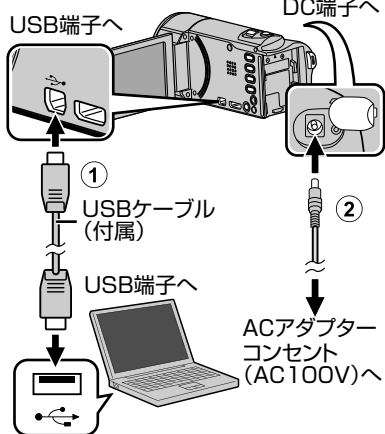
カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。



1 液晶モニターを開く

2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

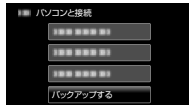
- 付属の AC アダプターを使用してください。



- 電源プラグを再接続してください。

3 "パソコンと接続"を選んで、OK を押す

4 "バックアップする"を選んで、OK を押す



- パソコンで付属ソフト Everio Media-Browser が立ち上がります。以降の手順は、パソコンで操作します。

5 ポリウムを選ぶ



6 バックアップを開始する



7 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは、裏表紙の「ビクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

- ① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

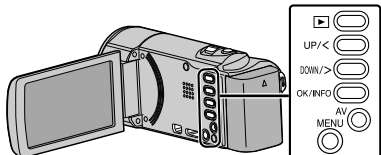


- ② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする
- ③ (Windows Vista の場合) "OK"をクリックする
- ④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

カーソルを選択・移動するには、UP/<ボタンまたは DOWN/>ボタンを使用してください。

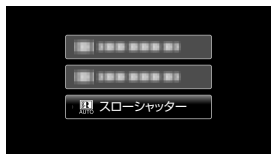


1 MENU を押す

2 設定したいメニューを選んで、OK を押す



3 設定を変更し、OK を押す



■ 一つ前の画面に戻るとき
MENU を押します。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

設定メニュー一覧

■ 動画撮影メニュー ※

マニュアル設定

撮影の設定を手動で設定できます。
(マニュアル撮影時のみ表示されます)

- ▶ マニュアル撮影モードに変更するには (p. 12)
- ▶ マニュアル設定メニュー (p. 22)

顔優先 A E / A F

人物の顔に枠が付き、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット

風の音を低減します。

タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

シームレス撮影

記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

x.v.Color

より忠実に色を記録します。
(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

記録メディア設定

動画を記録するメディアを設定します。

表示設定 (p. 24)

本体設定 (p. 24)

接続設定 (p. 24)

メディア設定 (p. 24)

マニュアル設定メニュー

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
☑ ナイトアイ: 周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。
☑ スポットライト: ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

※「表示設定」、「本体設定」、「接続設定」、「メディア設定」の項目は、(p. 24)をご覧ください。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- 2 階層目の項目は、1 階層目にある項目を選ぶと、表示されます。
- メニューの使いかたは、p. 21 をご覧ください。

■ 動画再生メニュー ※

削除

不要な動画を削除します。

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

別のメディアにコピーします。

ムーブ

別のメディアに移動します。

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

特殊ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

記録メディア設定

動画を再生するメディアを設定します。

画面表示

再生中の表示内容を切り替えます。

表示設定 (p. 24)

本体設定 (p. 24)

接続設定 (p. 24)

メディア設定 (p. 24)

■ 共通設定メニュー

表示設定メニュー

LANG./言語

メニューなどで表示する言語を設定します。

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h/12h)を設定します。

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

本体設定メニュー

デモモード

本機の機能のデモを再生できます。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

高速起動

5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

接続設定メニュー

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせた画面比(16:9または4:3)に設定します。

HDMI 出力

テレビのHDMI端子に接続するときに、本機のHDMI端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC規格に対応するテレビと連動します。

メディア設定メニュー

SD フォーマット

SDカードのファイルをすべて消去(初期化)します。

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

撮影時間

動画の撮影可能時間や撮影時間は、OK/INFO ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー 8 GB	SDHC/SDXC カード					
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
LS	1 時間 20 分	40 分	1 時間 30 分	3 時間 10 分	6 時間 30 分	9 時間 30 分	13 時間
LE	3 時間 20 分	1 時間 50 分	3 時間 40 分	7 時間 20 分	15 時間 10 分	22 時間 20 分	30 時間 20 分
SSW/SS	2 時間 30 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 40 分	11 時間 30 分	17 時間	23 時間
SEW/SE	5 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	11 時間 40 分	23 時間 50 分	35 時間 10 分	47 時間 40 分

- LS / LE : ハイビジョン画質 (1280 ピクセル x 720 ピクセル、16:9)
- SSW / SEW : 標準画質 (720 ピクセル x 480 ピクセル、16:9)
- SS / SE : 標準画質 (720 ピクセル x 480 ピクセル、4:3)
- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG107	40 分	1 時間 05 分
BN-VG114	1 時間 15 分	2 時間 10 分
BN-VG121	1 時間 55 分	3 時間 15 分

- "モニター明るさ"が"3"(標準)のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

- 以下の「こんなときは…」をご覧ください。
- Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。
 使い方で困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。
 - <http://manual.jvc.co.jp/index.html/>
 - 付属のCD-ROMからもアクセスできます。(p. 19)
- ビクターホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。
 - <http://www.victor.co.jp/>
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。
 そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。
 - 電源を切る。(液晶モニターを閉じる)
 - 電源(バッテリーとACアダプター)をいったん取りはずし、再度接続すると自動的に本機の電源が入ります。
- 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス(裏表紙参照)にお問い合わせください。

こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
電源	画面を閉じると POWER/CHARGE ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの充電中です。 	6
	撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> ▶(再生/録画)ボタンで撮影モードにしてください。 	13
撮影	自動的に撮影が停止した	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。 	-
	日付表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 再生メニュー "画面表示" を設定してください。 	23
再生	音や映像が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。故障ではありません。 	-

その他	一覧表示(サムネイル表示)に見たい映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モードのメニューの"動画画質"を設定してから、再生モードにしてください。 	7 13
	充電中、ランプが点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。) 	6 6
	本機が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。) 	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
カードへ記録できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れ直してください。 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"メディア設定"メニューの"メモリーフォーマット"または"SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。) 	- -
撮影データが少ないため保存できません	<ul style="list-style-type: none"> 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。 	-
カードエラー	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れ直してください。 ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直してください。 SDカードの端子の汚れを取り除いてください。 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"メディア設定"メニューの"SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。) 	- - - -
レンズカバーを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> レンズカバーが閉じているとき、または周りが暗いときに電源を入れると、約5秒間表示します。 	-

使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
この処理は、お客様の責任において行ってください。
万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CD を BGM とするムービーを編集する場合は、音楽 CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

他社製品の登録商標と商標について

- "AVCHD"、"AVCHD Lite" および "AVCHD"、"AVCHD Lite" ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Color と **x.v.Color** は商標です。
- HDMI[®] (High-Definition Multimedia Interface) と **HDMI[®]** は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iMovie は、米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeron は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Eye-Fi はアイファイジャパン株式会社の登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

液晶画面について

- 表面を強く押ししたり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります

仕様

カメラ本体	
電源	ACアダプター使用時:DC 5.2 V、バッテリー使用時:DC 3.5 V - 3.6 V
消費電力	2.2 W ("モニター明るさ"が"3"(標準)の場合)
外形寸法(mm)	50.5 mm x 55 mm x 110.5 mm (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)
質量	約 185 g(本体のみ)、約 215 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃ ~ 40℃、許容保存温度:-20℃ ~ 50℃、 許容相対湿度:35% ~ 80%
映像素子	1/5.8 型 150 万画素 プログレシブ CMOS
撮像エリア(動画)	63 万画素 ~ 105 万画素(ハイビジョン画質、手ぶれ補正 アクティブモード入) 63 万画素 ~ 125 万画素(ハイビジョン画質、手ぶれ補正 アクティブモード切)
レンズ	[ハイビジョン画質(L S/L E)] 35mm カメラ換算: 45.6 mm ~ 1,824 mm(手ぶれ補正 アクティブモード入)、 42.0 mm ~ 1,680 mm(手ぶれ補正 アクティブモード切) [標準画質(S SW/S EW)] 35mm カメラ換算: 45.6 mm ~ 3,182 mm(ダイナミックズーム)、45.6 mm ~ 1,824 mm(光学ズーム) [標準画質(S S/S E)] 35mm カメラ換算: 55.9 mm ~ 3,376 mm(ダイナミックズーム)、55.9 mm ~ 2,236 mm(光学ズーム)
ズーム(動画)	光学ズーム:等倍 ~ 40 倍 ダイナミックズーム:~ 70 倍(標準画質 S SW/S EW)、~ 60 倍(標準画質 S S/S E) デジタルズーム:~ 200 倍
動画記録方式	AVCHD 規格準拠、映像: AVC/H.264、音声: Dolby Digital (2ch)
記録メディア	内蔵メモリー(8 GB)、SDHC/SDXC カード(市販)、Eye-Fi カード(市販)
時計用電池	二次電池

AC アダプター(AC-V11)※

電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1 A
許容動作温度	0℃ ~ 40℃(充電時は 10℃ ~ 35℃)
外形寸法(mm)	66 mm x 28 mm x 47 mm (幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを 含まず)
質量	約 71 g

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」(P.26) にしたがって、まずはお確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における 個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
<http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/>

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

 0120-727-231

フリーダイヤルが使用できない場合


 06-6633-2990


ホームページ

<http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/>

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター


 0120-2828-17

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください
 - 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、次の電話番号をご利用ください
-  045-450-8950

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、または
ビクターサービス修理受付センター
にご相談ください。

ビクターサービス修理受付センター

 0800-800-9928

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.31をご覧ください。



ユーザー登録
のすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。

<http://www.victor.co.jp/reg/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

